

群馬県国際理解教育研究会

群馬県国際理解教育研究会

発行責任者 会長 天川 博



平成28年度在外教育施設派遣教員壮行会

(平成28年度派遣者-4名)

- 福田 康子先生 香港日本人学校中学部 (みどり市立大間々中学校)
- 都丸 智崇先生 コロンボ日本人学校 (高崎市立京ヶ島小学校)
- 関口 南先生 バンコク日本人学校 (高崎市立高南中学校)
- 藤生真之介先生 コタ・キナバル日本人学校 (神流町立中里中学校)



会長 あいさつ

皆様こんばんは。私は群馬県国際理解教育研究会会長の天川博と申します。平成27年在外教育施設派遣教員壮行会を開催するにあたり、ご案内を申し上げましたところ田村充教育次長様をはじめ、群馬県教育委員会学校人事課の皆様並びに派遣される4名の皆様、そして毎年国旗贈呈者として

【藤生 旻、関口 旻、福田 旻、都丸 旻】 【第17代会長 天川博】 ご参加いただいている柿沼宏和香様、会員の多くの皆様のご参加をいただき、壮行会が盛大に開催されますことに対しまして、まずもって厚く御礼を申し上げます。お忙しい中の出席、大変ありがとうございます。また、このように県教委の先生方が参加して下さる壮行会は、本県と埼玉県だけです。千葉県や茨城県は管理主事1名のみです。他県は参加者無しです。大変有り難うございます。

さて、本日、午後2時より1時間程、時間をいただきまして4名の派遣される先生がたに話をさせていただきました。改めて4名の先生方海外派遣大変おめでとうございます。

私の話の中心は、派遣教員のよさと期待される教師像についてです。派遣教員のよさにつきましては、46都道府県の先生方とともに教育活動が体験できるという事です。会議や諸行事を進めるにおいてもその考え方や進め方の相異を体験することができるということです。また、日本を離れることによって、改めて自国の習慣や文化についていろいろ考える機会をいただけるということです。現在は、安心安全ということは、大変難しい状況になってきましたが、現地の人たちと触れ合うことによって、様々な異文化体験を通しての、自国との共通点や相違点に気づくことができるということです。そして何と云っても、厳しい環境の中できたく純粋に頑張っている子ども達と接することができる。期待される教師像については、授業料を払って子どもの学力や体力を向上させることなど依頼しているわけですから、その厳しい要求・願いにも答えていくということです。

また、会員の皆様には、帰国してまだ浅い人と私どものように20年以上たった人もいらっしゃいます。本日の会が会員の皆様にとっての旧交を温める会になることもよいと思います。そして何より帰国して年月が浅い先生方これから帰国される先生方の良きアドバイザーとして県内五つの地区ごとに連携して支援をしていただきますと大変有りがたいと思います。多文化共生時代に生きる人材の育成に大きく寄与できるものと信じております。また、6名の派遣される先生方のように自らの教員としての資質を向上させ、国際化社会に生きる人としての感性を身につけようと意欲と情熱をおもちの県内の先生方への啓発に力を入れていきたいと考えております。

最後に6名の先生方の群馬県の教員の代表として、「協調性をもって他都道府県の先生方と」任地において活躍されることをご祈念申し上げまして、言葉整いませんが挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

『行ってらっしゃい。健康に気をつけて頑張ってください。』



【田村充教育次長より激励の言葉】 【野村晃男学校人事課長のあいさつ】

来賓(群馬県教育委員会)の皆様

- 田村 充 教育次長 (指導担当)
- 野村 晃男 学校人事課長
- 羽鳥 正 学校人事課管理係長
- 土田かほる 学校人事課義務教育人事係長
- 加藤 隆浩 学校人事課管理係管理主事

平成28年度在外教育施設派遣者

- 福田 康子 香港日本人学校中学部
- 関口 南 バンコク日本人学校
- 都丸 智崇 コロンボ日本人学校
- 藤生真之介 コタ・キナバル日本人学校

群馬県派遣教員内定者研修会

平成28年3月4日(金) 14:00~県庁



主 催：県教育委員会事務局 学校人事課
これから赴任する各校において、それぞれ課題を抱えて先生方がその解決に向けて団結して取り組んでいますので、各学校の実情に応じて他の先生方と協力して皆様のお力を発揮していただきたいと思います。

また、慣れない気候風土の任地ですのでくれぐれも健康に留意されてご活躍ください。皆様を送り出された学校も「日本人学校でどう過ごしているか？」気にかけていらっしゃると思いますので、学期に1度程度で構いませんので県教育委員会への連絡とともに置籍校にも連絡を忘れないでください。この後、任地別に講師の先生方から赴任校の情報について詳しい説明がありますので参考にしてください。年度末で学校の事務処理や渡航の準備等で大変お忙しくなると思いますが、計画的に進めていってください。

【羽鳥 正学校人事課管理係長から4名の派遣者へ】

講話「在外教育施設における教育の特質と派遣教員の心構え」

14:10~15:10

講 師 天川 博

(群馬県国際理解教育研究会会長)

(桐生市立川内中学校長)

1 はじめに

海外日本人学校に派遣される先生方、大変おめでとうございます。希望する派遣先でしたでしょうか？4月7日(木)ごろ、任国に向けてご出発されると聞いておりますので、40日弱ですね。

- | | | | |
|----------|---------------------------------|---------|----------|
| 1. 福田康子 | 香港・中学部(中国:アジア) | みどり大間々中 | 11人目 S49 |
| | 創立50周年の記念すべき年に赴任。藤森慎吾(オエンタルラジオ) | | |
| 2. 都丸智嵩 | コロombo(スリランカ:アジア) | 高崎京ヶ島小 | 4人目 H 8 |
| | 全校生徒が30名くらいの小規模校なので複式の学級 | | |
| 3. 関口 南 | バンコク(タイ:アジア) | 高崎高南中 | 16人目 S50 |
| | 小中合計3000名 小71クラス、中18、特支3クラス | | |
| 4. 藤生真之介 | コタ・キナバル(マレーシア:アジア) | 神流中里中 | 3人目 H25 |
| | 全校生徒が20名。全て複式学級。教科指導は3学年以上を受け持つ | | |

これから中学校では、後期試験を受験させるとか最終進学先を決定するとか、年度末の通知表や指導要録の作成、中学校への情報交換資料作成等で大変忙しい中、出発の準備をしなければなりません。住所変更だの、お子さんが就学して場合は転出手続きだの様々な準備があります。

2 派遣教員のよさ

(1) 日本国内にだけにいる教師との経験の違い

- ①「46都道府県出身教師と一緒に仕事」 **協調性が大切**
- ②「日本人として国を意識する生活」
- ③「異なった文化の中で生活」
- ④「家族一丸の生活」
- ⑤「母語以外の言語習得が必要である生活」
- ⑥「危機管理を意識する生活」
- ⑦「日本を代表し活躍する人との交流」
- ⑧「世界で活躍する人との接触」
- ⑨「上昇志向の強い方々との接触」
- ⑩「公私のない生活」
- ⑪「努力する児童生徒」
- ⑫「学校経営者との接触」

(2) 学校教育活動では

- ① 殆どの日本人学校が小中一貫教育
- ② あらゆる分野の教育活動の体験

(3) その他

- ① 通勤するときの服装などを気を配るようになる。
- ② 世界で日本を意識し活躍する方々に接し、あらゆる場面で相手を意識し、TPOも考え行動しなければいけ

ない大事さを身をもって知ることができる。

- ③普段なら気にもしない「物品消費」にも、一段と意識して使う。経費は全て授業料から支出する。不足が出れば値上げを検討しなければならない。など

3 派遣教員に期待すること

(1) 在外教育施設への教員派遣の意義「海外子女教育は、我が国の主権の及ばない外国において展開されており、国内とは異なる教育環境におかれた日本人の子どもに対し、国内における教育の機会均等及び義務教育無償の精神に沿って、日本国民にふさわしい教育を行うとともに、併せて国際性を培うことを目的としています。教育の基本が、よい教師を得ることにあることはいまでもありません。特に、国内に比して教育条件が十分ではない在外教育施設においては、教師の果たす役割は極めて大きいといえます。在外教育施設で必要とする教員を国の責任で確保し、派遣することとしている理由もここに 있습니다。一方、派遣教員にとっては、国内とは異なる環境において教育実践を行うという意義は大きく、貴重な教員研修の機会となっています。外国の地で教育を行うという利点を生かし、我が国教育の基本理念の一つである国際性豊かな日本人の育成に積極的に寄与することが期待されています。」

(2) 保護者・児童生徒の願い

〈保護者から担任される先生への希望〉

- ①東京など首都圏や大阪・名古屋などの大都市圏出身の先生
- ②受験指導のできる先生（現地校進学、日本国内私立・公立高校進学等）
- ③性格の明るい先生
- ④時間をいとわない先生
- ⑤どの子にも公平な先生
- ⑥物事に意欲的に取り組む先生
- ⑦日本の小中学校で学ぶように「基礎学力」をつけてほしい。（残留グループ）
- ⑧親と同等の私立・公立高校に進学できるような「学力」。（帰国グループ）
- ⑨中学3年生の帰国後の進路・・・都道府県の入試情報及び帰国子女枠での入試等

(3) 日本人学校の特性

保護者から高額な入学金や授業料と、膨大な寄付金（学校によって異なるが）を徴収している。

子どもや保護者の願い・期待に応える使命感と情熱

4 求められる教師として

- (1) 厳しい環境にいる児童生徒の理解
- (2) 現地の文化・習慣、教育制度を含めた社会の仕組みの違いを体験・勉強し、授業に。
- (3) グローバル人材に求められる「グローバルな学力の育成」という視点を強く意識した教育の実践（*多文化共生を越えて、言葉を含めたコミュニケーション能力に長けた人材）
- (4) 限られた時間を有効に使える教師でありたい。
- (5) 自分の考えをしっかりと述べ、しかも**協調性がある**教師でありたい。
- (6) 柔軟な思考ができる教師でありたい
- (7) 日本語、日本文化を大切にできる教師
- (8) 保護者とも上手に付き合える教師
- (9) 研究授業など進んでできる教師

5 貴重な人材としての役割

長期研修出張で海外派遣されてきた教師が、全国各地へ配置され、研修結果を実行へと移していただきたいという文科省、各都道府県教委の意向がある。

これは、「異なった文化の中で生活」し、自国文化を外から見ることをし、異文化の習慣の中で、違いからのストレス、習慣などを身をもって味わってきた人材を大きく活用し、児童生徒の視野思考を拓めさせるために貴重な人材であるからである。

6 最後に

帰国後も赴任した国の情報には接し続け（単なる引き上げ兵とならぬために）、自らの経験をブラッシュアップする努力を続けるとともに、機会があれば再度派遣（シニア派遣制度）に挑戦していただき、海外での教育のプロになってもらえればと願っています。

- ◆保護者が「通わせたい〇〇日本人学校」
- ◆児童生徒が「通いたい〇〇日本人学校」
- ◆派遣教員が「勤めたい〇〇日本人学校」 をめざして、群馬の代表として御活躍ください。

※ 時間がある時に、近況報告（学級だよりでOKです）してください。メールを送りますので。

任地別情報交換会（15：15～16：30）

香港日本人学校中学部



【半田幸弘太田市教委指導主事と福田康子先生(大間々中)】

バンコク日本人学校



【関口南先生(高崎高南中)と松井洋先生(鎌倉中)】

コタ・キナバル日本人学校



【岡田英樹先生(吉岡中)と 藤生真之介先生(中里中)】

コロombo日本人学校



【都丸智崇先生(京ヶ島小)と大澤正殖蓮小教頭】



《主な情報提供内容》

- ①各日本人学校の様子
 - ・学校の所在地、施設の様子、規模、教職員等
 - ・学校行事、現地校との交流、現地理解教育活動
 - ・月ごとの教育活動、研修について
- ②住居について
 - ・家賃、広さ、周りの環境等
- ③生活について
 - ・スーパーマーケット等の位置や交通事情
- ④子どもたちの教育について
 - ・日本人学校 or 現地校
- ⑤余暇の過ごし方について
 - ・住所周辺の施設等
 - ・近距離での施設等
 - ・土日を利用しての施設等
- ⑥その他
 - ・荷物の輸送について→船便で輸送（途中で荷物を抜かれてしまった段ボールの写真）

各日本人学校の情報交換会

講師の先生方が用意してくださった写真資料を見ながら、時折笑い声を交えての情報交換会となりました。3年間の経験を基に「知っておくと得する、困らない貴重な情報」を提供していただきました。お忙しい中、講師をつとめていただいた先生方ご協力誠にありがとうございました。